

笑顔と

神奈川県立金沢養護学校

やさしい心



学校だより

かなざわ

第 186 号 令和 5 年 1 月 26 日

年の初めに

今年の干支は「卯」。卯年はどんな年か調べてみました。ウサギは跳ねることから「飛躍」や「向上」の年とされています。また、干支の十二支はもともと季節ごとに変化する“植物の段階”を表す言葉でした。動物の干支で4番目にあたる「卯」を植物の段階に置き換えると、4番目は「茂」で、草木が生い茂る段階にあたります。このことから「成長」の年とも言われます。今年は夢や目標に向かって飛躍し、さらなる成長が遂げられるようにと願っています。



お正月の食べ物と言えば、おせち料理！五穀豊穰や長寿、子孫繁栄などの願いを込めて縁起の良い献立が並んでいる様子が思い浮かびます。また、お餅もよく食べられます。平安時代は硬いお餅を食べることで歯を丈夫にし、長寿と健康を願ったそうです。

お餅にはいろいろな食べ方がありますね。磯辺、きな粉、納豆や“ずんだ”（枝豆をすりつぶした餡）アレンジは無限大。なかでも地方色豊かな食べ方が雑煮です。農林水産省のホームページを見ると全国各地の雑煮が紹介されています。その数100種類以上！

関東風はだし汁に焼餅を入れ小松菜、人参、鶏肉などを盛り付けた醤油味、京都は白味噌仕立てで丸餅に丸く切った大根、人参等をいれ「家庭円満」を願います。鳥取では甘い小豆汁に丸餅を入れたものを食べます。小豆は邪気を払う力があり、縁起が良いとされています。お祝い事で赤飯を食べるのも、このことに由来しています。四国香川は京都と同じ白味噌仕立てですが、丸餅の中にだし汁で煮た小豆餡が入っています。福岡博多ではだし汁にブリ、焼き豆腐、高菜など地場産の食材を入れた雑煮となっています。ひと口に雑煮と言っても様々で、その土地の風土や文化が想像できて豊かな気持ちになりました。



さて、一年の計は元旦にありといいますが、今年の抱負を身近な人にインタビューしてみました。校長先生は「笑顔と優しい心金沢を意識して行動できる学校にする」、山口教頭先生は「【大切なことは、目では見えない】これは『星の王子さま』の一節。しっかり見ていると思っても、今までの経験から偏った見方になることもある。視野を広めて、大切なことに気づいていきたい」でした。

新型コロナの感染者は今も毎日一定数報告されています。感染症や世界で起きている争いごとが終息し、平穏な日常が戻るよう願ってやみません。学校では子どもたちが楽しく学習活動に参加し、充実した日々を送れるようにしたいです。

副校長 坂梨 尚美

高等部B部門の活動を紹介します

卒業後の社会生活を見据え、『1日を通して作業活動をする』『ほうれんそう(挨拶・返事・報告)を身につける』など、班ごと個人ごと合わせた目標を設定して活動する『職業』についての紹介です。

高B作業学習

農作業では毎年『金澤八味』の材料である唐辛子や大葉、それぞれの学年で野菜などを栽培・収穫しています。

ものづくりでは、革工芸やリボンレイ、アクリルたわしなどを製作します。

リサイクルでは、牛乳パック原料の紙すきをしたり、みかんの皮を使った入浴剤やメモ帳を作ります。また、学校に集まったベルマークの集計作業も行います。



高B職業人コース3年



校内清掃や他学部の日誌用紙を作る『校内受注』と、企業や近隣の学校から依頼を受けてベルマークの集計や商品のラベル貼り、検品などを行う『校外受注』の作業があります。

また、今年度は、学校で出るコピー用紙の包装紙と靴下メーカーで出る端切れの輪を使って紙バッグを作成し、SDGsの取り組みとして紹介される機会もできました。

学校では、作業自体が上手かが目標ではなく、正しい姿勢や挨拶、指示されたことを理解して行動すること、分からないことや失敗したことを伝えられること、など社会人として大切なことを学ぶ授業です。

